

令和5年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

下呂市青少年育成市民会議

下呂市では、国・県の青少年健全育成活動に賛同し「大人が変われば子どもも変わる」をスローガンに、市民の意思を一つに活動して行こうと、6月10日（土）に、第18回下呂市青少年育成市民会議を開催し、併せて「少年の主張下呂市大会」及び下呂市青少年育成顕彰「わかあゆ賞」の紹介を行いました。

また11月23日（木祝）には、青少年の国際的視野や自己表現力の醸成を目的とした「WakuWaku インターナショナルフェア」を開催しました。



WakuWaku インターナショナルフェア青少年推進員さん

○第18回少年の主張下呂市大会

6月10日（土）萩原町星雲会館において、少年の主張下呂市大会を開催しました。少年の主張では、市内中学校から選出された6名の代表生徒が、少年の主張岐阜県大会開催要綱に準じて発表を行いました。最優秀賞は「私の考える多様性」を発表した金山中学校3年の加藤櫻子さんを受賞しました。

続いて、地域を知り地域を学ぶ実践発表として、小坂地区地域学校協働活動推進員の皆越真佐代氏が小坂小中学校CSにおける地域学校協働活動の実践「人と人が出会いつながる」を発表しました。

さらに、下呂市青少年育成顕彰「わかあゆ賞」の受賞者の紹介を行いました。「わかあゆ賞」とは、市内小中学校、高等学校の児童生徒及び市出身の青少年の地域内外での優れた活動を顕彰し、その活動をさらに激励することによって明るい社会の気風を醸成し、青少年の健全育成に資することを目的とした顕彰です。今年度は、66名2団体が受賞しました。



最優秀賞 金山中学校3年 加藤櫻子さん



主張大会の各校代表者の皆さん

○WakuWaku インターナショナルフェア

1 事業の目的

- ① 外国語や異文化について、学生を中心とした市民の興味・関心を高める。【多文化共生社会の実現】
- ② 地域社会が一体となり、体験を通して子どもの成長を支える大人の当事者意識を高める。【市民参画型の青少年育成活動の推進】
- ③ 下呂市中学生海外派遣事業（ペンサコーラ、ケチカンでのホームステイ）への理解を深める。「Think globally , act locally(地球規模で考え、足元から行動せよ)」【グローバル化の機会】



開催チラシ

2 事業概要

日時	11月23日(木祝)午後開催
場所	下呂市萩原町 星雲会館 天慶の間
来場者	主に小学生とその保護者、中学生、市民の皆さん
協力者	R4年度ペンサコーラ&ケチカン派遣事業参加者(中学3年生)、下呂市国際交流員、市内ALT、益田清風高校インターアクト部、市民有志の方(海外経験が豊富な方など)
担当者	下呂市青少年育成推進委員、下呂市社会教育主事、地域振興課社会教育係

3 イベント内容

【中学生海外派遣事業活動紹介】

中学2年生から3年生にかけての春休みに、約10日間ホームステイの経験をした中学生が、小学生の引率を担うとともに、紹介ブースでは、海外派遣の魅力を伝えました。

【海外経験豊富な市民によるブース】

大学で語学を学んだ方による「英語絵本読み聞かせ」「ワードチェーン」、地元で英会話スクールを運営する方による「簡単英会話」、イスラエルに渡航経験のある方の「イスラエルの紹介」、元英語教師による「様々な言語を学ぼう」、金山国際交流協会会員による「英語を使って買い物ごっこ」と様々な立場の地域の方が参画し、子どもたちの国際感覚や視野を広げ深めました。

【ALTブース】

市内の全ALTによる「英語で楽しもう」、楽しく学べる英語体験ブースを開きました。

【益田清風高等学校によるブース】

インターアクト部の生徒が「英語カルタ」を企画・運営しました。他ブースのスタッフとしても活躍しました。

【日本語交流サロン運営者によるブース】

日本語交流サロンで下呂市在住の外国人に対して、日本語で交流するサロンを運営するスタッフによる、下呂市に在住する外国人についての理解を深めるブースを開きました。

4 成果と今後

当日の小学生参加者は約40名、事業に参画した市民は60名(内、中高生約40人)にもなりました。事業の目的をおよそ網羅することができたと言えます。今後は、さらにより広い市民の参画と市内在住の外国人の参画も実現させ、多文化国際交流の場としても発展させていきたいです。

